

「スチュワードシップ活動の状況について」の公表

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「責任ある投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の趣旨に賛同し受入れを表明しており、このたび2018年7月～2019年6月における「スチュワードシップ活動の状況について」を公表しましたので、お知らせします。

当社は、今後も「スチュワードシップ責任を果たすための方針」に基づき、投資先企業との対話や議決権行使といったスチュワードシップ活動を通じて、投資先企業の企業価値向上を促すことで、機関投資家としての責任を果たしてまいります。

「スチュワードシップ活動の状況について」のポイント

1. 上場企業議決権行使結果（2018年7月～2019年6月）

①企業数ベース（会社提案）

	全て賛成	1件以上 不賛同あり	うち反対 (※1)	うち棄権 (※1)	合計	不賛同 比率
一般勘定	1,001	47	45	2	1,048	4.5%
特別勘定	415	25	25	1	440	5.7%
会社計(※2)	1,144	70	68	3	1,214	5.8%

②議案数ベース（会社提案）(※3)

	賛成	不賛同	うち反対	うち棄権	合計	不賛同 比率
一般勘定	11,720	74	61	13	11,794	0.6%
特別勘定	5,343	62	58	4	5,405	1.1%
会社計(※2)	13,592	134	117	17	13,726	1.0%

※1 同一企業で反対・棄権の両方があった場合は、反対・棄権それぞれにカウント

※2 一般勘定と特別勘定の両方で保有する銘柄は1銘柄とカウント。なお、一般勘定と特別勘定で行使結果が異なる場合は、不賛同として集計

※3 取締役・監査役の選解任議案については、1候補者につき1議案として集計

なお、株主議決権行使結果については、2018年7月株主総会開催分から四半期ベースでの開示を行なっておりますが、2019年4～6月株主総会開催分の行使結果から、個々の議案に対する賛否の状況に加えて、会社提案は不賛同、株主提案は賛成・棄権の場合の理由（該当判断基準）についても開示を開始しました。詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

・「議決権行使の実施状況（2019年4～6月株主総会）」URL

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/csr/governance/pdf/voting_right4.pdf

2. 対話の状況（2018年7月～2019年6月）

2018年7月～2019年6月における対話企業数は、特別勘定における対話活動を強化したことなどから前年同期に比べて増加しました。対話件数については、より深度のある対話を行なうため「課題の認識共有・当社からの改善要望」を目的とした対話が増加した一方、対話による業況等の確認を必要とする企業数が減少したため、全体としては前年同期比でほぼ横這いとなりました。

主な目的別の対話件数は以下のとおりです。

主な目的	対話企業数 (上場企業)	対話件数
課題の認識共有・当社からの改善要望	223社	251件
業況等の確認・その他	225社	320件
議決権行使時における対話	220社	229件
合計	509社	800件
(参考) 2017年7月～2018年6月合計	466社	804件

■ 詳細については、**別紙**「ステewardシップ活動の状況について」をご参照ください。

・「ステewardシップ活動の状況について」URL

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/csr/governance/pdf/stewardship_activity2.pdf

以上